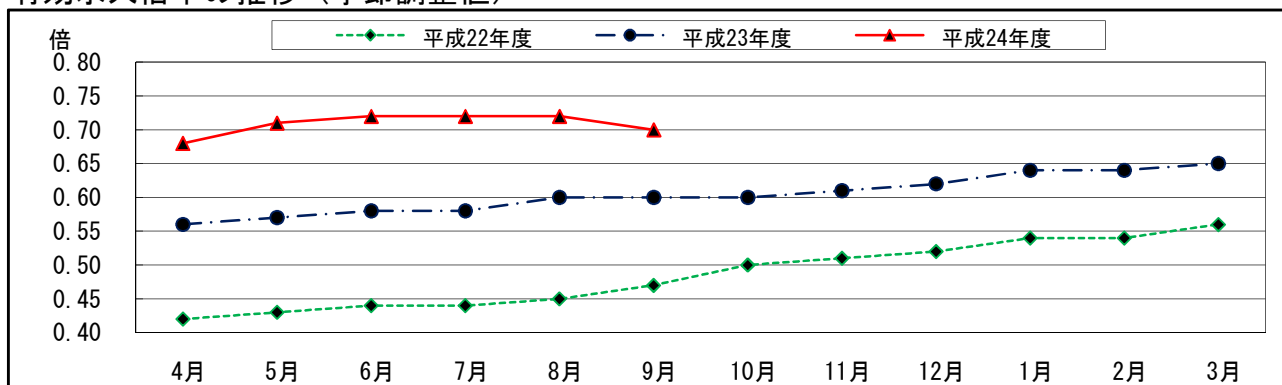


有効求人倍率の推移（季節調整値）



職業紹介主要指標

項 目		24年 9月	24年 8月	前月比 (差)	23年 9月	前年同月比 (差)	
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	6,431	6,435	▲ 0.1	7,045	▲ 8.7	
	2. 月間有効求職者数	26,859	27,139	▲ 1.0	28,598	▲ 6.1	
	3. 新規求人数	7,246	7,230	0.2	7,001	3.5	
	4. 月間有効求人数	18,875	18,577	1.6	17,092	10.4	
	5. 紹介件数	11,796	11,424	3.3	12,847	▲ 8.2	
	6. 就職件数	2,688	2,522	6.6	2,678	0.4	
	7. 充足数	2,590	2,398	8.0	2,587	0.1	
	比率	8. 有効求人倍率(倍)	季調値 0.70	0.72	▲ 0.02	0.60	0.10
			原数値 0.70	0.68	0.02	0.60	0.10
		9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	41.8	39.2	2.6	38.0	3.8
	10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)	35.7	33.2	2.5	37.0	▲ 1.3	
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	2,267	2,242	1.1	2,447	▲ 7.4	
	12. 月間有効求職者数	10,924	11,125	▲ 1.8	11,878	▲ 8.0	
	13. 紹介件数	3,914	3,853	1.6	4,433	▲ 11.7	
	14. 就職件数	875	808	8.3	877	▲ 0.2	
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	38.6	36.0	2.6	35.8	2.8	
雇用保険	16. 適用事業所数	19,873	19,971	▲ 0.5	19,668	1.0	
	17. 被保険者数	275,278	275,146	0.0	273,059	0.8	
	18. 離職票提出件数	1,745	1,742	0.2	1,844	▲ 5.4	
	19. 受給資格決定件数	1,605	1,610	▲ 0.3	1,687	▲ 4.9	
	20. 受給者実人員(所定内)	6,858	7,419	▲ 7.6	7,503	▲ 8.6	
	21. 総支給金額(千円)	771,503	864,313	▲ 10.7	902,701	▲ 14.5	

9月の雇用の動き

本県の労働市場における有効求人倍率(季節調整値)は、有効求人数(同)が前月比1.5%減少し、有効求職者数(同)が1.1%増加したことから、前月を0.02ポイント下回り**0.70倍**となった。前年同月比では、0.10ポイント上昇し31か月連続の上昇となったものの、前月比では、平成22年2月を底に同水準又は上昇で推移してきたが、今月は下降に転じた。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で13か月連続減少し、有効求職者数(原数値)も、18か月連続で減少している。新規常用求職者(パートを除く)を求職時の態様別にみると、前年同月比で全ての態様別において減少している。特に無業者が同25.1%減少(11か月連続)している。又、離職者のうち事業主都合によるものも同8.4%の減少(34か月連続)となっている。

一方、新規求人数(原数値)は、前年同月比で31か月連続増加し、有効求人数(原数値)も31か月連続増加している。産業別にみると、前年同月比で、製造業が140人(16.9%)減、運輸業・郵便業が85人(17.1%)減、宿泊業・飲食サービス業が74人(11.8%)減等(18産業中9産業で減少)、卸売業・小売業が284人(27.2%)増、建設業が130人(31.4%)増、農・林・漁業が106人(70.2%)増等(18産業中8産業で増加)となっており、全体で245人(3.5%)の増加となった。

職業紹介状況は、紹介件数が8.2%減の11,796件となり、就職件数は0.4%増の2,688件となった。うち、パートの紹介件数は4.0%減の3,224件となり、就職件数は13.8%増の940件となった。

就職率(対新規求職者)は、3.8ポイント上回って41.8%となった。

雇用失業情勢は、緩やかな改善基調を維持しているものの、景気判断が下降修正される中、円高の長期化や中国との関係等による影響リスクもあり、状況は厳しく、今後の経済の動き、求人・求職の動向を注視する必要がある。